

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター（旧医療型） 千葉市大宮学園 たけのこルーム		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 23日		～ 令和6年 1月 24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 6日		～ 令和7年 1月 24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 5日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子通園により児童への理解が深まり、保護者の児童への関わり方など保護者支援に繋がる。	療育活動を通して、自宅でも出来る遊びや児童への関わり方が伝わるよう努めている。	一人ひとりに合った療育内容や集団に合った療育内容を各専門職と考える。また季節の行事の要素を取り入れた療育を行い、療育内容を充実させる。
2	各専門職がいることで、児童や保護者支援につながりやすい。	児童一人ひとりにあった個別支援や保護者勉強会を実施している。	各専門職が、内外部の研修に積極的に参加し知識や技術を学び質の向上を目指す。
3	遊具や教材、ハード面等が充実している。	一人ひとりに合った教材など様々な教材と遊具を取り入れ、遊びの幅が広がるようにしている。	玩具や教材が古くなってきている。時代に合った教材を導入し、児童が飽きない療育を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各マニュアルの周知と説明不測のため、理解されていない。 避難訓練の日に欠席等で、避難訓練に参加されていない児童と保護者がいる。	契約、更新時、運営方針説明会で口頭のみで各マニュアルの周知をしている。 避難訓練の日は、周知されていない。	各マニュアルは、運営方針などから書面での説明を行う。避難訓練の日にちを周知し参加を促す。
2	アプリやメールによるお便り等の配信が出来ていない。	アプリやメール機能による配信の設定が遅れている。	配信の設定をして、確認を行い配信出来るようにする。
3	高齢、障害、児童など他分野への異動があるため、各専門職のキャリアが築きにくい。	法人内での同職種による引継ぎや研修、日々の療育の中で研修などで学んだことを活かせるように行っている。	他分野から異動の際は、引継ぎや研修等を期間などを決め行う。また、異動職員の精神的なサポートをする。